



# IPレジストリシステム 開発検討について

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
IP事業部 サトウスム

## 本日も説明の主旨

- ▶ IPレジストリシステム開発推進へのご理解
- ▶ 開発方針・計画等へのご理解
  - をいただければと思います。
- ▶ 現状までの検討内容(概要設計)についてのご意見、ご要望
  - をお伺いできればと思います。

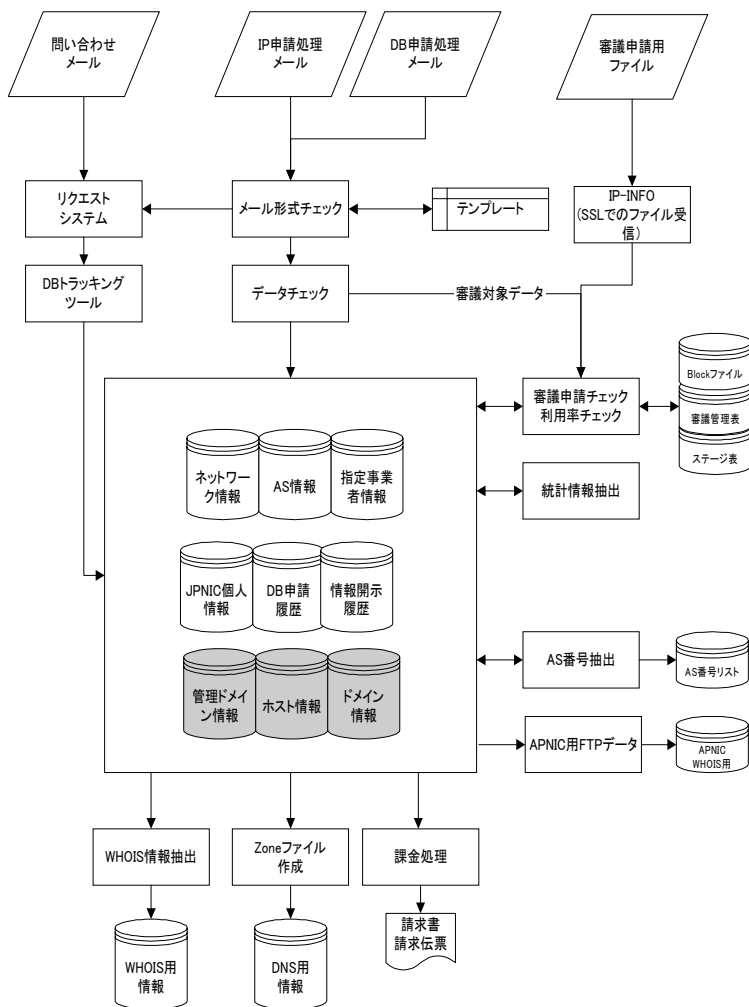
よろしく申し上げます。

## これまでの経緯

- 2001年後半～
  - 新レジストリシステムの開発推進
- 2002年5月
  - 新レジストリシステム運用開始日延期
- 2002年8月
  - 新レジストリシステム開発を中止
- 2002年度下期～
  - レジストリシステムについてゼロから再検討開始
- 2003年度第1四半期
  - システム要件検討と業務詳細分析の実施

# 現行システム構成と問題点

IPレジストリシステム概要図

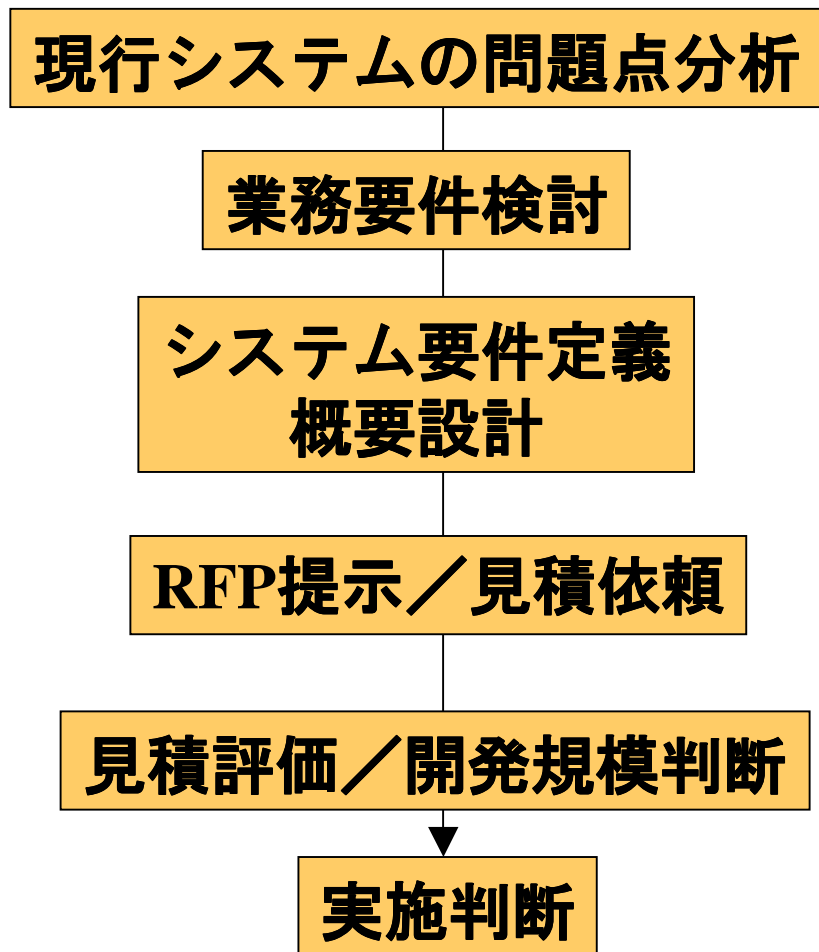


- ドメイン名との共存
- 申請書チェック機能
- 非連携ファイル
- 認証機能
- 業務機能

## 新規システム開発の目的

- ▶ 業務効率化によるコスト削減
- ▶ APNICとのインタフェース強化
- ▶ 認証機能導入によるセキュリティ向上
- ▶ 指定事業者サービスの向上
- ▶ IPv6業務への対応

# 検討の進め方



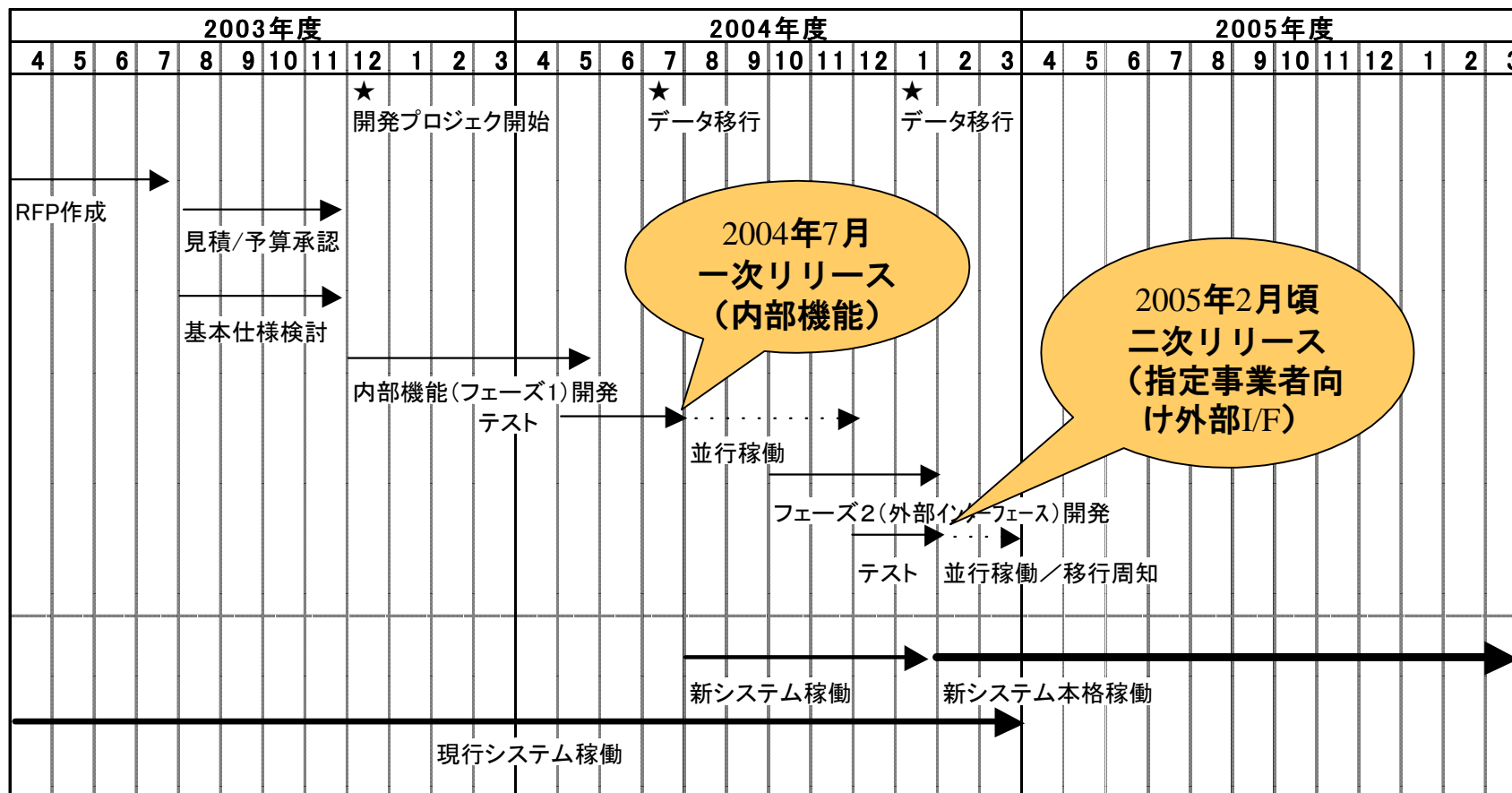
- 開発規模の見極め
- 予算確保
- 総会での予算承認

## 現在までの進捗状況

- 現行システム分析と問題点把握（完了）
- RIR、他NIRのシステム調査（完了）
- 現行業務・フロー分析（完了）
- 業務改善ポイント洗い出し（完了）
- 業務要求分析（一部残）
- システム要求分析（完了）
- 概要設計書、全体計画案作成（完了）
- IP検討委員による設計書レビュー（完了）

**業務要求分析と新業務フローの策定は今後詳細仕様の策定と平行して進める予定です**

# 全体計画案



**詳細工程計画作成時に変更になる場合もあります**



# 概要設計内容

この後別途ご説明いたします。

# システム開発投資と コスト回収について

- ▶ 投資コストの回収をどのように行なうか？
  - IP事業は独立採算性→原則としてIP事業費で賄う
    - システム化による業務コストの削減
    - システム運用費用の低減
  - 上記を押し進めることで、コスト回収に繋げる
  - 当面は現状の収入規模を維持
  - 将来的には指定事業者の課金負担を低減したい

**状況により課金低減時期が延びる可能性もあります**

# 同時に見直しが必要になるもの

- ▶ サービス体系
  - 現行サービス全般を見直し、効率的かつ合理的な体系に整理
    - AS、PIアドレスについても管理責任を明確化する
- ▶ 課金体系
  - 資源利用者から幅広く費用負担
    - 指定事業者からの維持料、手数料収入以外(他の資源利用者など)からへ継続的課金など
- ▶ 各種申請手続き
  - 業務効率化のため申請手続き見直し
    - フォーム記載事項の変更、リナンバ、部分返却等の廃止など

**各検討状況についても適宜ご報告させていただきます**

# 新システムによるメリット

- ▶ 効率的で安全な申請業務の実現
  - 審議におけるメールのやり取りの削減
  - Webインターフェースを利用した申請書作成補助
  - 申請業務補助のための情報共有機能の実現
- ▶ 中長期的な課金負担の軽減
  - JPNICの業務効率化による中長期的なコスト削減
- ▶ ユーザーニーズへの柔軟な対応
  - システムの独立化による機動性の確保
- ▶ 登録データの安全性確保
  - 証明書による認証方式の導入によるセキュリティ向上

**この他に期待すること、要望等をお聞かせください**

## 今後の予定

8月1日	開発委託先候補へのRFP説明会
8月中	サービス体系詳細、業務詳細手順の検討
9月2日	見積り・提案締め切り
9月2日～9月末	見積り・提案内容評価検討
9月末	指定事業者連絡会(今後の進め方)
10月	予算調整、補正予算の理事会承認
11月27日	補正予算の総会承認
12月1日	開発プロジェクト 正式Kick Off
12月or1月	指定事業者連絡会(詳細仕様について)

ありがとうございました。



ご質問、ご意見をお願いいたします。

[sys-opinion@nic.ad.jp](mailto:sys-opinion@nic.ad.jp)